令和7年

上砂川町議会議録

第2回定例会

上砂川町議会

上砂川町議会会議録目次

出席議員	1
説明のため出席した者	2
事務局職員出席者	2

令和7年第2回定例会

第1号(6月18日)

議事日程	3
会議録署名議員	4
開会の宣告	5
開議の宣告	5
会議録署名議員指名について	5
会期決定について	5
諸般の報告	5
笹木笑子の第1回砂川地区広域消防組合議会臨時会結果報告	5
副町長の(株)上砂川振興公社令和6年度営業報告・決算報告並びに令和7年度事業計画報告	6
例月出納検査結果報告(2・3・4・5月分)	7
町長行政報告	7
教育長教育行政報告	7
報告第1号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町一般会計予算繰越明許費」 (承認)	7
報告第2号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町下水道事業会計予算繰越明許費」 (承認)	9
議案第23号 工事請負契約締結について(原案可決)	10
議案第24号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定 について	11
議案第25号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	13
議案第26号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例制定について	14
議案第27号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を 改正する条例制定について	17
議案第28号 令和7年度上砂川町一般会計補正予算(第1号)	19
休会について	22
散会の宣告	22

第 2 号 (6月20日)

議事日程	24
会議録署名議員	24
開議の宣告	25
会議録署名議員指名について	25
一般質問	25
笹木 笑子	25
総務課長 鷺尾 仁志	26
議案第24号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定について (原案可決)	27
議案第25号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について (原案可決)	27
議案第26号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について (原案可決)	27
議案第27号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について (原案可決)	27
議案第28号 令和7年度上砂川町一般会計補正予算 (第1号) (原案可決)	27
調査第2号 所管事務調査について (許可)	29
派遣第1号 議員派遣承認について (承認)	29
追加日程について	30
意見書案第1号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書 (原案可決)	30
意見書案第2号 地方財政の充実・強化に関する意見書 (原案可決)	31
閉会の宣告	34

出 席 議 員

議席 番号	氏 名	2 定	
		6.18	6.20
1	石 田 浩 二	○	○
2	藏 根 高 史	○	○
3	笹 木 笑 子	○	○
4	小 澤 一 文	○	○
5	越 前 等	○	○
6	伊 藤 充 章	○	○
7	吉 川 洋	○	○
8	高 橋 成 和	○	○

説明のため出席した者

役 職 名	氏 名	2 定	
		6.18	6.20
町 長	奥 山 光 一	○	○
副 町 長	林 智 明	○	○
教 育 長	飯 山 重 信	○	○
監 査 委 員	横 林 典 夫	○	○
監 査 事 務 局 長	谷 禎 規	○	○
総 務 課 長	鷺 尾 仁 志	○	○
企 画 課 長	山 崎 数 浩	○	○
建 設 環 境 課 長	内 野 博 之	○	○
建 設 環 境 課 技 師 長	鈴 木 健 一	○	○
住 民 課 長	佐 藤 利 哉	○	○
会 計 管 理 者	浅 利 基 行	○	○
福 祉 課 長	戸 田 晋 一	○	○
医 療 保 険 担 当 課 長	沼 明 仁	○	○
健 康 推 進 課 長	林 孔 美	○	○
教 育 次 長	齊 藤 修 実	○	○

事務局職員出席者

職 名	氏 名	2 定	
		6.18	6.20
議 会 事 務 局 長	谷 禎 規	○	○
総 務 係 長	齊 藤 弥 生	○	○

令和 7 年

上砂川町議会第 2 回定例会会議録（第 1 日）

6 月 1 8 日（水曜日）午前 1 0 時 0 0 分 開 会
午前 1 1 時 0 5 分 散 会

○議事日程 第 1 号

- 第 1 会議録署名議員指名について
- 第 2 会期決定について
6 月 1 8 日～6 月 2 0 日
3 日間
- 第 3 諸般の報告
- 1) 議会政務報告
 - 2) 第 1 回砂川地区広域消防組合議会臨時会結果報告（笹木議員）
 - 3) (株) 上砂川振興公社令和 6 年度営業報告・決算報告並びに令和 7 年度事業計画報告（副町長）
 - 4) 例月出納検査結果報告（2・3・4・5 月分）
- 第 4 町長行政報告
- 第 5 教育長教育行政報告
- 第 6 報告第 1 号 繰越明許費の報告について「令和 6 年度上砂川町一般会計予算繰越明許費」
- 第 7 報告第 2 号 繰越明許費の報告について「令和 6 年度上砂川町下水道事業会計予算繰越明許費」
- 第 8 議案第 2 3 号 工事請負契約締結について
※ 議案第 2 3 号は、質疑・討論・採決とする。
- 第 9 議案第 2 4 号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 1 0 議案第 2 5 号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 1 1 議案第 2 6 号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第 1 2 議案第 2 7 号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第 1 3 議案第 2 8 号 令和 7 年度上砂川町一般会計補正予算（第 1 号）
※ 議案第 2 4 号～第 2 8 号は、提案理由・内容説明までとする。

○会議録署名議員

3番 笹木笑子 4番 小澤一文

◎開会の宣告

○議長（高橋成和） おはようございます。ただいまの出席議員は8名です。

理事者側につきましては、全員出席しております。

定足数に達しておりますので、令和7年第2回上砂川町議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

（開会 午前10時00分）

◎開議の宣告

○議長（高橋成和） 直ちに本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員指名について

○議長（高橋成和） 日程第1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第124条の規定によって、3番、笹木議員、4番、小澤議員を指名いたします。よろしく願いいたします。

◎会期決定について

○議長（高橋成和） 日程第2、会期決定について議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から6月20日までの3日間にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

よって、会期は、本日から6月20日までの3日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議の予定につきましては、お手元に配付の日程表のとおりでございます。

◎諸般の報告

○議長（高橋成和） 次、日程第3、諸般の報告を行います。

議会政務報告を行います。報告事項につきましては、それぞれ印刷してお手元に配付しているとおりでございますので、御覧になっていただき、報告に代えさせていただきます。

次、第1回砂川地区広域消防組合議会臨時会結果について報告を求めます。笹木議員。

○3番（笹木笑子） 令和7年第1回砂川地区広域消防組合議会臨時会が開催されましたので、ご報告いたします。

日時は、令和7年5月7日水曜日午前10時。

場所につきましては、砂川市役所議会委員会室。

議件といたしましては、議案第1号 財産の取得について、報告第1号 繰越明許費の

繰越しについて。

結果であります。慎重審議の結果、各議件とも全会一致、原案のとおり可決、承認されましたので、ご報告いたします。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 次に、株式会社上砂川振興公社令和6年度営業報告・決算報告並びに令和7年度事業計画について報告を求めます。林副町長。

○副町長（林 智明） それでは、ご指示によりまして、株式会社上砂川振興公社の経営状況等についてご報告いたします。

お手元に配付しております振興公社の令和6年度営業報告・決算報告並びに令和7年度事業計画書をご参照願います。

決算の内容についてご説明いたしますので、1ページ中段の表をご参照願います。令和6年度の決算は、収入では株主である町の施設改修助成も終了したことから前年度対比28%、5,293万5,000円減の1億3,608万6,000円、支出では国のガソリン補助金縮減による燃料費の増や米の高騰などによる食材費の増、ボイラーやポンプなどの修繕による外注費の増と施設改修費の減により前年度対比17.9%、3,220万1,000円減の1億4,760万8,000円、差引き1,152万2,000円の経常利益から棚卸しによる商品10万1,000円を差し引いた1,142万1,000円が当期純損失となり、12ページの株主資本等変動計算書の中段にあります利益剰余金の累積利益である当期首残高742万9,000円から1,142万1,000円を減じたマイナス399万2,000円が当期末残高となります。収入区分別売上高及び経費の主な内容は、1ページ下段から2ページ上段に記載しておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、2ページ中段の(2)、入り込み客数の状況ですが、日帰り入館者数は前年度対比0.1%、104人減の10万1,583人、宿泊客数は前年度対比11.9%、591人減の4,374人で、施設利用者全体では前年度対比0.7%、695人減の10万5,957人となったところであります。

2の各実施事業の状況につきましては、(1)の健康の里づくり事業から(4)の宿泊客対策までまとめており、5ページには庶務報告と本年3月31日現在の会社の概要、7ページには施設の利用状況、また8ページ以降は貸借対照表、貸借対照表明細書、損益計算書、販売費及び一般管理費、株主資本等変動計算書となっておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、令和7年度事業計画についてご説明いたします。14ページの1、基本方針であります。令和7年度においても物価高騰の影響により厳しい経営状況が続きますが、いま一度利用者が求めるサービスを再考し、従業員一丸となって事業を展開することにより、コロナ禍前の水準である年間入館者数目標を11万6,000人とし、利用収益は1億110万円を目標に掲げ、営業努力をいたします。

次に、2の部門別事業計画であります。1)の日帰り部門から(5)、特産品開発販売部門まで目標達成に向けた取組方針をまとめておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、3の事業予算であります、17ページ、収支計画明細書によりご説明いたします。収入であります、利用収益として入館料2,450万円、町民無料券等740万円、宿泊料2,500万円、以下手数料まで合計で1億110万円を見込み、営業外収益であります補助金等は4,604万7,000円とし、収入合計を1億4,714万7,000円としたところであります。

次に、支出であります、人件費と厚生福利費で5,350万円のほか、主なところでは燃料費1,800万円、光熱水費1,720万円、仕入れ1,400万円を見込み、支出合計を1億4,705万円とし、差引き9万7,000円の経常利益を確保する収入予算としております。

以上が振興公社の営業報告・事業計画であります、振興公社にあつては依然として厳しい経営環境にありますことから、健全経営がなせるよう努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りたくお願い申し上げ、ご報告とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 次、例月出納検査結果報告を行います。

本件につきましては、お手元に配付の報告書の2月、3月、4月、5月分のとおりでございますので、御覧になっていただき、報告といたします。

以上で諸般の報告を終わります。

◎町長行政報告

○議長（高橋成和） 次、日程第4、町長行政報告を行います。奥山町長。

○町長（奥山光一） 町長行政報告を申し上げます。

今回報告いたします令和7年第1回定例会から本定例会までの町政執行上の事項について特段報告申し上げる事項はございませんが、町内外の行事、会議等につきましてはお手元に配付の報告書のとおりでございますので、お目通し願ひまして、町長行政報告とさせていただきます。

○議長（高橋成和） 以上で町長行政報告を終わります。

◎教育長教育行政報告

○議長（高橋成和） 次、日程第5、教育長教育行政報告を行います。飯山教育長。

○教育長（飯山重信） 教育長行政報告を申し上げます。

令和7年第1回定例会から本定例会まで特に報告する事項がございませんので、町内外の主要な行事、会議につきましてはお手元に配付しております行政報告書を御覧いただき、教育行政報告とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で教育長教育行政報告を終わります。

◎報告第1号

○議長（高橋成和） 次、日程第6、報告第1号 繰越明許費の報告について「令和6年度

上砂川町一般会計予算繰越明許費」を議題といたします。

報告理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 議案書1ページをお開き願います。ただいま上程されました報告第1号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町一般会計予算繰越明許費」について提案理由を申し上げます。

令和6年度上砂川町一般会計予算の繰越明許費にかかる歳出予算を次のとおり令和7年度へ繰越したので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告する。

令和7年6月18日提出、北海道上砂川町長。

以下、内容の説明は副町長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で報告理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。林副町長。

○副町長（林 智明） それでは、ご指示によりまして、報告第1号について内容の説明をいたします。

繰越明許費につきましては、令和6年度国の補正予算成立により本年3月定例会におきまして一般会計にて補正予算計上し、繰越明許費の議決を得た範囲内で令和7年度へ繰り越しましたので、報告するものであります。

妊婦のための支援給付に係るシステム改修事業につきましては、行政のデジタル化の推進に伴い、妊婦のための支援給付を確実に、かつ迅速に給付するため、また自治体間で給付履歴などの情報連携を可能とするためシステムを改修するもので、本年3月定例会に118万8,000円の予算計上を行い、令和7年度に繰り越したものであります。

次に、消防ポンプ自動車購入事業につきましては、当初予算にて予算計上しておりましたが、車種メーカーであるいすゞ自動車において発生した車両製造プログラム不具合による出荷停止の影響により納車時期が遅延したことから、令和7年度に繰り越したものであります。

それでは、本文に参ります。3款民生費、2項児童福祉費、事業名、妊婦のための支援給付に係るシステム改修事業、金額118万8,000円、翌年度繰越額118万8,000円、左の財源内訳、既収入特定財源、未収入特定財源、国・道支出金118万8,000円、地方債、その他、一般財源。

9款消防費、1項消防費、事業名、消防ポンプ自動車購入事業、金額3,795万円、翌年度繰越額3,795万円、地方債3,490万円、一般財源305万円。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で報告理由並びに内容の説明が終了いたしましたので、これより順次質疑、討論、採決を行ってまいります。

報告第1号に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより報告第1号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、報告第1号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町一般会計予算繰越明許費」は、承認することに決定いたしました。

◎報告第2号

○議長（高橋成和） 次、日程第7、報告第2号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町下水道事業会計予算繰越明許費」を議題といたします。

報告理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 議案書2ページでございます。ただいま上程されました報告第2号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町下水道事業会計予算繰越明許費」について提案理由を申し上げます。

令和6年度上砂川町下水道事業会計予算の繰越明許費にかかる歳出予算を次のとおり令和7年度へ繰越したので、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告する。

令和7年6月18日提出、北海道上砂川町長。

以下、内容の説明は副町長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で報告理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。林副町長。

○副町長（林 智明） それでは、ご指示によりまして、報告第2号について内容の説明をいたします。

石狩川流域下水道事業に係る建設負担金を令和6年度当初予算において計上しておりましたが、その建設事業の一部を令和7年度へ繰り越しましたので、地方公営企業法第26条の規定により報告するものであります。

石狩川流域下水道事業の建設事業につきましては、北海道が主体となって実施するもので、その経費については構成市町が負担することとなっております。当初予定していた建設事業について年度末に北海道から工期を延長し、令和7年度に繰り越す旨の連絡があったことから、本町負担分331万4,000円を令和7年度に繰り越したものであります。

それでは、本文に参ります。令和6年度上砂川町下水道事業会計予算繰越計算書。

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額。

1款資本的支出、1項建設改良費、事業名、石狩川流域下水道事業建設負担金、予算計上

額331万4,000円、支払義務発生額、翌年度繰越額331万4,000円、左の財源内訳、企業債330万円、一般会計補助金1万4,000円、不用額、翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額、説明、北海道が行う石狩川流域下水道事業が繰越となったため。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で報告理由並びに内容の説明が終了いたしましたので、これより順次質疑、討論、採決を行ってまいります。

報告第2号に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより報告第2号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、報告第2号 繰越明許費の報告について「令和6年度上砂川町下水道事業会計予算繰越明許費」は、承認することに決定いたしました。

◎議案第23号

○議長（高橋成和） 次、日程第8、議案第23号 工事請負契約締結について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 議案書3ページでございます。ただいま上程されました議案第23号 工事請負契約締結について提案理由を申し上げます。

提案理由といたしましては、防災行政無線等整備工事の工事請負契約の締結に当たり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決に付すものであること。

以下、内容の説明は建設環境課長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。内野建設環境課長。

○建設環境課長（内野博之） それでは、ご指示によりまして、議案第23号についての内容の説明をいたします。

このたびの議案は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める予定価格5,000万円以上の工事請負契約の締結につきまして議会の議決を求めるもの

でございます。

災害情報等を町民へ確実に伝達するための防災行政無線及び戸別受信機を整備するとともに、防災気象情報の受信対応のためJアラートの受信機の更新を行うもので、入札につきましては、三鈺建設株式会社上砂川支店、株式会社平尾電気商会、株式会社加藤電機商会の3者による指名競争入札の方法で去る6月5日に執行し、1回目で予定価格に達し、落札決定いたしました。入札額につきましては、三鈺建設株式会社上砂川支店1億2,000万円、株式会社平尾電気商会1億2,100万円、株式会社加藤電機商会1億2,150万円で、三鈺建設株式会社上砂川支店に落札決定したもので、契約金額は消費税相当額1,200万円を加えた1億3,200万円であります。

それでは、本文に入らせていただきます。次のとおり工事請負契約を締結する。

1、工事名、防災行政無線等整備工事。

2、工事の場所、上砂川町内。

3、工事の概要、防災行政無線装置一式、屋外子局スピーカー3局、戸別受信機70台、Jアラート受信機一式（更新）。

4、竣工期限、令和8年3月31日。

5、契約金額、1億3,200万円。

6、契約の相手方、三鈺建設株式会社上砂川支店支店長、小野寺秀夫。

7、契約の方法、指名競争入札。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由並びに内容の説明が終了いたしましたので、これより順次質疑、討論、採決を行ってまいります。

本件に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより議案第23号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、議案第23号 工事請負契約締結については、原案のとおり決定いたしました。

◎議案第24号

○議長（高橋成和） 次、日程第9、議案第24号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給

に関する条例の一部を改正する条例制定について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 議案書4ページでございます。ただいま上程されました議案第24号特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定について提案理由を申し上げます。

特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

提案理由といたしましては、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、関係条項を改正するものであること。

以下、内容の説明は総務課長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。鷲尾総務課長。

○総務課長（鷲尾仁志） それでは、ご指示によりまして、議案第24号について内容の説明をいたします。

このたびの改正は、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、この法律に準拠し、規定している本町の各選挙の選挙長や投票票管理者等の報酬について関係条項を改正するものでございます。具体的には、現行職名ごとに報酬額を規定しております規定を国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に定める額と改正するものであり、報酬額につきましては、選挙長及び開票管理者は1万600円が1万2,200円に、投票管理者は1万2,600円が1万4,500円に、選挙立会人及び開票立会人は8,800円が1万100円に、投票立会人は1万700円が1万2,400円になるもので、この改正に伴い7月に行われる参議院議員通常選挙執行経費の増額につきましては、議案第28号の一般会計補正予算に計上しているところであります。

なお、条例の変更箇所につきましては、お手元の資料ナンバー1の新旧対照表をご参照願います。

それでは、本文に参ります。5ページをお開き願います。特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例。

特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例（昭和26年上砂川町条例第6号）の一部を次のように改正する。

別表中、職名の項中、選挙長、開票管理者、投票管理者、選挙立会人、開票立会人、投票立会人、報酬額の項中、1選挙につき1万600円、同上、1選挙につき1万2,600円、1選挙につき8,800円、同上、1選挙につき1万700円、備考の項中、同時選挙の場合において、他の選挙のこれらの職を兼ねる場合は、一方の報酬は支給しない、以下に同じを職名の項中、選挙長、開票管理者、投票管理者、選挙立会人、開票立会人、投票立会人、報酬額の項中、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律（昭和25年法律第179号）に定める額、以

下に同じ、備考の項中、同時選挙の場合において、他の選挙のこれらの職を兼ねる場合は、一方の報酬は支給しない、以下に同じに改める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由並びに内容の説明を終わります。

◎議案第25号

○議長（高橋成和） 次、日程第10、議案第25号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 議案書6ページでございます。ただいま上程されました議案第25号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について提案理由を申し上げます。

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

提案理由といたしましては、再任用職員等に対する手当の支給について、人事院勧告に準じ関係条例を改正するものであること。

以下、内容の説明は総務課長から申し上げますので、よろしくお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。鷺尾総務課長。

○総務課長（鷺尾仁志） それでは、ご指示によりまして、議案第25号について内容の説明をいたします。

このたびの改正は、令和6年の人事院勧告で再任用職員等に支給する手当が拡大されたことに伴い、本町で規定している各条例の関係条項を改正するものでございます。具体的には、今まで再任用職員には支給されなかった住居手当や寒冷地手当について一般職同様に支給されるようになるとともに、地方公務員法の改正に伴い、本町の条例で規定している条項にずれが生じますことから、関係規定を整備するものでございます。

なお、改正となる条例は3本の条例となり、条例本文の改正箇所につきましては、お手元に配付の資料ナンバー2の新旧対照表をご参照願います。

それでは、本文に参ります。7ページをお開き願います。一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例。

（一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）

第1条 一般職の職員の給与に関する条例（昭和26年上砂川町条例第4号）の一部を次のように改正する。

第15条の2第2項中「から第9条まで」を削る。

(上砂川町職員の寒冷地手当に関する条例の一部を改正する条例)

第2条 上砂川町職員の寒冷地手当に関する条例(昭和39年上砂川町条例第33号)の一部を次のように改正する。

第1条中「同じ。)」の次に「及び同法第22条の4第3項に規定する定年前再任用短時間勤務職員」を加える。

(地方公務員法の一部を改正する法律の施行にともなう関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例)

第3条 地方公務員法の一部を改正する法律の施行にともなう関係条例の整備に関する条例(令和4年上砂川町条例第11号)の一部を次のように改正する。

附則第3条第1項及び第6項中「附則第9条第2項」を「附則第9条第6項」に改め、同条第7項中「から第9条まで」を削る。

附則第4条を次のように改める。

(暫定再任用短時間勤務職員に対する寒冷地手当の支給)

第4条 地方公務員法の一部を改正する法律(令和3年法律第63号)附則第9条第6項に規定する暫定再任用職員であつて地方公務員法(昭和25年法律第261号)第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員は、同条第3項に規定する定年前再任用短時間勤務職員とみなして、改正後の上砂川町職員の寒冷地手当に関する条例第2条の規定を適用する。

附則第15条中「附則第9条第3項」を「附則第9条第2項」に改める。

附則

この条例は、公布の日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

以上でございます。

○議長(高橋成和) 以上で提案理由並びに内容の説明を終わります。

◎議案第26号

○議長(高橋成和) 日程第11、議案第26号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長(奥山光一) 議案書8ページをお開き願います。ただいま上程されました議案第26号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について提案理由を申し上げます。

上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

提案理由といたしましては、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、本条例の関係条項を改正する

ものであること。

以下、内容の説明は健康推進課長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。林健康推進課長。

○健康推進課長（林 孔美） それでは、ご指示により、議案第26号について内容の説明をいたします。

このたびの条例改正は、特定地域型保育事業者における連携施設の確保が進んでいないことから、国の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、この基準に準拠して規定している本条例の関係条項を改正するものであります。

改正の内容であります。家庭的保育事業者を含む特定地域型保育事業者が保育内容支援及び代替保育に関わる連携施設の確保が著しく困難な場合は連携施設を確保しないことができるよう、要件の緩和と連携施設に関する経過措置として連携施設を確保しないことができるとの定めを法の施行日から起算して10年を15年に延長することが主なものとなっておりますが、本町においては現在該当する特定地域型保育事業者はございません。

なお、条例の変更箇所につきましては、お手元の配付資料ナンバー3の新旧対照表をご参照いたします。

それでは、本文に入らせていただきます。9ページをお開き願います。上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年上砂川町条例第12号）の一部を次のように改正する。

第2条第13号中「令第4条第2項」を「令第4条第1項第2号」に改める。

第6条第3項中「の数」を削り、同条第4項中「上で当該、」を「上で、当該」に改める。

第8条中「子ども・子育て支援施行規定」を「子ども・子育て支援法施行規則」に改める。

第15条第1項第4号中「厚生労働大臣」を「内閣総理大臣」に改める。

第35条第1項中「限る。」の次に「以下」を加える。

第37条第1項中「A型をいう。」の次に「第42条第3項において同じ。」を、「B型をいう。」の次に「第42条第3項において同じ。」を加え、「附則第4条」を「附則第3条」に改める。

第42条第1項中「第5項」を「第7項」に改め、同項第1号中「支援を行うこと。」を「支援（次項において「保育内容支援」という。）を実施すること。」に改め、同項第3号中「第4項第1号」を「第6項第1号」に改め、同条第4項に次の各号を加える。

（1）町長が、児童福祉法第24条第3項（同法附則第73条第1項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の規定による調整を行うに当たって、特定地域型保育事業者による特定地域型保育の提供を受けていた満3歳未満保育認定こどもを優先的に取り扱う措置その他の特定地域型保育事業者による特定地域型保育の提供の終了に際して、当該満3歳

未満保育認定子どもに係る教育・保育給付認定保護者の希望に基づき、引き続き必要な教育、保育が提供されるよう必要な措置を講じているとき。

(2) 特定地域型保育事業者による第1項第3号に掲げる事項に係る連携施設の確保が著しく困難であると認めるとき（前号に該当する場合を除く。）。

第42条第9項を同条第11項とし、同条第8項中「附則第5条」を「附則第4条」に改め、同項を同条第10項とし、同条中第7項を第9項とし、第6項を第8項とし、同条第5項中「前項」の次に「（同項第2号に係る部分に限る。）」を加え、「施設のうち、」を「施設のうち」に、「行う者」を「施設」に改め、同項を同条第7項とし、同条第4項中「特定地域型保育事業者による第1項第3号に掲げる事項に係る連携施設の確保が著しく困難であると認めるときは、同号」を「次のいずれかに該当するときは、第1項第3号」に改め、同項を同条第6項とし、同条第3項中「前項の場合において、特定地域事業者は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める者を」を「前項各号の代替保育連携協力者とは、」に、「連携協力を行う者として適切に確保しなければならない。」を「連携協力者を行う者であって、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるものをいう。」に改め、同項第1号中「当該特定地域型保育事業者」を「特定地域型保育事業者」に、「小規模保育事業A型若しくは小規模保育事業B型又は事業所内保育事業を行う者（次号において「小規模保育事業A型事業者等」という。）」を「小規模保育事業A型事業者等」に改め、同項を同条第5項とし、同条第2項中「すべて」を「全て」に、「前項第2号」を「第1項第2号」に改め、同項第1号及び第2号を次のように改める。

(1) 特定地域型保育事業者が代替保育連携協力者を適切に確保した場合には、次のア及びイに掲げる要件を満たすと町長が認めること。

ア 特定地域型保育事業者と代替保育連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。

イ 代替保育連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。

(2) 町長が特定地域型保育事業者による代替保育連携協力者の確保の促進のために必要な措置を講じてもなお当該代替保育連携協力者の確保が著しく困難であること。

第42条中第2項を第4項とし、第1項の次に次の2項を加える。

2 町長は、特定地域型保育事業者による保育内容支援の実施に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であって、次の各号に掲げる要件の全てを満たすと認めるときは、前項第1号の規定を適用しないこととすることができる。

(1) 特定地域型保育事業者が保育内容支援連携協力者を適切に確保すること。

(2) 次のア及びイに掲げる要件を満たすこと。

ア 特定地域型保育事業者と保育内容支援連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。

イ 保育内容支援連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措

置が講じられていること。

3 前項各号の保育内容支援連携協力者とは、小規模保育事業A型もしくは小規模保育事業B型または事業所内保育事業を行う者（第5項において「小規模保育事業A型事業者等」という。）であって、第1項第1号に掲げる事項に係る連携協力を行うものをいう。

附則第4条中「10年」を「15年」に改める。

附則

この条例は、公布の日から施行し、令和7年4月1日から施行する。

以上です。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由並びに内容の説明を終わります。

◎議案第27号

○議長（高橋成和） 次、日程第12、議案第27号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 議案書12ページをお開き願います。ただいま上程されました議案第27号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について提案理由を申し上げます。

上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

提案理由といたしましては、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、本条例の関係条項を改正するものであること。

以下、内容の説明は健康推進課長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。林健康推進課長。

○健康推進課長（林 孔美） それでは、ご指示により、議案第27号について内容の説明をいたします。

このたびの条例改正は、家庭的保育事業者における連携施設の確保が進んでいないことから、国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、本条例の関係条項を改正するものであります。

改正の内容ですが、定員5人以下の少人数を対象に保育を提供する家庭的保育事業者が保育内容支援及び代替保育に関わる連携施設の確保が著しく困難な場合には連携施設を確保しないことができるなど要件を緩和し、連携施設に関する経過措置として連携施設を確保しないことができるとの定めを法の施行日から起算して5年を15年に延長することが主なものとなっておりますが、本町においては現在該当する家庭的保育事業者はございません。

なお、条例の変更箇所につきましては、お手元の配付資料ナンバー 4 の新旧対照表をご参照願います。

それでは、本文に入らせていただきます。13ページをお開き願います。上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について。

上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年上砂川町条例第13号）の一部を次のように改正する。

第6条前段中「第3号」を「以下この条」に改め、同条ただし書中「除く。）」を「除く。」に改め、同条第1号中「を行う」を「（次項において「保育内容支援」という。）を実施する」に改め、同条第2号中「保育をいう。」の次に「以下この条において同じ。」を加え、同条第3号中「号」の次に「及び第6項第1号」を加え、同条に次の6項を加える。

2 町長は、家庭的保育事業者等による保育内容支援の実施に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であって、次の各号に掲げる要件の全てを満たすと認めるときは、前項第1号の規定を適用しないこととすることができる。

（1） 家庭的保育事業者等が保育内容支援連携協力者を適切に確保すること。

（2） 次のア及びイに掲げる要件を満たすこと。

ア 家庭的保育事業者等と保育内容支援連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。

イ 保育内容支援連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。

3 前項各号の保育内容支援連携協力者とは、第27条に規定する小規模保育事業A型もしくは小規模保育事業B型または事業所内保育事業を行う者（第5項において「小規模保育事業A型事業者等」という。）であって、第1項第1号に掲げる事項に係る連携協力を行うものをいう。

4 町長は、家庭的保育事業者等による代替保育の提供に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であって、次の各号に掲げる要件のいずれかを満たすときは、第1項第2号の規定を適用しないこととすることができる。

（1） 家庭的保育事業者等が代替保育連携協力者を適切に確保した場合には、次のア及びイに掲げる要件を満たすと町長が認めること。

ア 家庭的保育事業者等と代替保育連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。

イ 代替保育連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。

（2） 町長が家庭的保育事業者等による代替保育連携協力者の確保の促進のために必要な措置を講じてもなお当該代替保育連携協力者の確保が著しく困難であること。

5 前項各号の代替保育連携協力者とは、第1項第2号に掲げる事項に係る連携協力を行う者であって、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるものをい

う。

(1) 家庭保育事業者等が家庭的保育事業等を行う場所または事業所(次号において「事業実施場所」という。)以外の場所または事業所において代替保育が提供される場合
小規模保育事業A型事業者等。

(2) 事業実施場所において代替保育が提供される場合 事業の規模等を勘案して小規模保育事業A型事業者等と同等の能力を有すると町長が認める者。

6 町長は、次のいずれかに該当するときは、第1項第3号の規定を適用しないこととすることができる。

(1) 町長が、法第24条第3項の規定による調整を行うに当たって、家庭的保育事業者等による保育の提供を受けていた利用乳幼児を優先的に取り扱う措置その他の家庭的保育事業者等による保育の提供の終了に際して、利用乳幼児に係る保護者の希望に基づき、引き続き必要な教育または保育が提供されるよう必要な措置を講じているとき。

(2) 家庭的保育事業者等による第1項第3号に掲げる事項に係る連携施設の確保が、著しく困難であると認めるとき(前号に該当する場合を除く。)

7 前項(第2号に該当する場合に限る。)の場合において、家庭的保育事業者等は、法第59条第1項に規定する施設のうち次に掲げるもの(入所定員が20人以上のものに限る。)であって、町長が適当と認めるものを第1項第3号に掲げる事項に係る連携協力を行う施設として適切に確保しなければならない。

(1) 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)第59条の2第1項の規定による助成を受けている者の設置する施設(法第6条の3第12項に規定する業務を目的とするものに限る。)

(2) 法第6条の3第12項及び第39条第1項に規定する業務を目的とする施設であって、法第6条の3第9項第1号に規定する保育を必要とする乳児・幼児の保育を行うことに要する費用に係る地方公共団体の補助を受けているもの。

第16条第1項第2号中「栄養士」の次に「又は管理栄養士」を加える。

附則第3条中「家庭的保育事業者等」の次に「(特例保育所型事業所内保育事業者を除く。)」を加え、「本文」を「第1項」に、「この条例の施行の日から」を「施行日から」に、「5年」を「15年」に改める。

附則

この条例は、公布の日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

以上でございます。

○議長(高橋成和) 以上で提案理由並びに内容の説明を終わります。

◎議案第28号

○議長(高橋成和) 次、日程第13、議案第28号 令和7年度上砂川町一般会計補正予算(第1号)について議題といたします。

提案理由の説明を求めます。奥山町長。

○町長（奥山光一） 補正予算書を御覧願います。ただいま上程されました議案第28号 令和7年度上砂川町一般会計補正予算（第1号）について提案理由を申し上げます。

令和7年度上砂川町一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,060万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ34億9,760万円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

令和7年6月18日提出、北海道上砂川町長。

以下、内容の説明は副町長からいたしますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由の説明を終わります。

引き続き内容の説明を求めます。林副町長。

○副町長（林 智明） それでは、議案第28号について内容の説明をいたします。

2ページであります。第1表、歳入歳出予算補正。1、歳入、10款地方交付税500万円の追加で、19億200万円となります。

1 項地方交付税、同額であります。

14款国庫支出金100万円の追加で、2億6,645万7,000円となります。

2 項国庫補助金100万円の追加で、9,434万円となります。

19款繰越金1,330万円の追加で、4,330万円となります。

1 項繰越金、同額であります。

21款町債130万円の追加で、5億4,120万円となります。

1 項町債、同額であります。

歳入合計が2,060万円の追加で、34億9,760万円となります。

次ページ、歳出であります。2、歳出、2款総務費1,016万2,000円の追加で、6億7,863万8,000円となります。

1 項総務管理費1,011万3,000円の追加で、5億5,856万7,000円となります。

4 項選挙費4万9,000円の追加で、758万8,000円となります。

3 款民生費170万3,000円の追加で、7億2,904万4,000円となります。

1 項社会福祉費170万3,000円の追加で、6億5,854万2,000円となります。

4 款衛生費303万5,000円の追加で、1億8,811万1,000円となります。

1 項保健衛生費303万5,000円の追加で、1億378万8,000円となります。

10款教育費570万円の追加で、1億9,159万9,000円となります。

3項中学校費570万円の追加で、6,200万4,000円となります。

歳出合計が2,060万円の追加で、34億9,760万円となります。

次ページであります。第2表、地方債補正。1、変更、起債の目的、過疎地域持続的発展特別事業、補正前限度額5,330万円、補正後限度額5,460万円。

事項別明細書8ページ、歳出でございます。3、歳出、2款1項5目財産管理費84万2,000円の追加は、雪害による防火水槽と旧無重力実験施設の北側シャッターの修繕料の計上であります。

11目地域振興費93万3,000円の追加は、地域おこし協力隊員が本年4月1日に訪問看護ステーションを開業したため、店舗購入費と開業用備品に対する創業支援事業補助金の計上であります。

12目地域おこし協力隊事業費833万8,000円の追加は、田中学園との包括連携協定により、こども園と小学校低学年の外国語コミュニケーション活動の充実と小学校高学年の外国語教育の充実を図るため、現在ベトナムの大学に在学中の21歳の女性を本年4月1日付で地域おこし協力隊として採用するもので、1節報酬203万1,000円、3節職員手当等11万9,000円、4節共済費32万5,000円、8節旅費1万8,000円、12節委託料は田中学園の関連企業である株式会社北海道企画に募集、受入れに係る事務と語学研修等の業務を委託するため500万円を追加するもので、ビザの関係で受入れ時期が遅れることも想定されます。13節使用料及び賃借料84万5,000円の追加は、4月に採用した協力隊の家賃補填分の追加であります。

4項3目参議院議員選挙費4万9,000円の追加は、先ほど議案第24号で提案した法律改正による報酬の追加であります。

3款1項2目老人福祉費150万円の追加は、グループホーム上砂川の熱中対策のための冷房設備設置事業が国庫補助金の採択を受けたことによる追加で、3目社会福祉施設費20万3,000円の追加は、雪害による下鶉生活館の修繕料の追加であります。

4款1項2目予防費303万5,000円の追加で、1,693万4,000円となります。新型コロナウイルスワクチン接種が昨年より定期接種となり、接種対象者も65歳以下の高齢者と60歳から64歳で重症化リスクの高い方が対象となり、昨年は定期接種費用に国からの助成があり、3割の自己負担として昨年度に限り2,000円としておりましたが、本年度も3割の自己負担は変更せず、国の助成がなくなることから接種料金を4,000円とし、生活保護世帯は無料といたします。接種希望者を対象者数の2割と見込み250人とし、接種体制につきましては本年度は集団接種は行わず、10月から3月まで町内医療機関での個別接種と砂川市立病院を除く砂川市の医療機関での個別接種とし、他の医療機関で接種する場合は一旦全額を支払い、領収書により償還払いも採用することとしております。12節委託料291万6,000円の追加は、医療機関に支払う委託料で、19節扶助費11万9,000円の追加は償還払い分の追加であります。

10款3項1目学校管理費570万円の追加は、中学校の体育館照明交換と体育館床補修の追加であります。

次に、6ページ、歳入であります。2、歳入、10款1項1目地方交付税500万円の追加は、

特別交付税の追加で、14款2項2目民生費補助金100万円の追加はグループホーム上砂川の冷房設備設置に係る国庫補助金の計上であります。

19款1項1目繰越金1,330万円の追加は、前年度繰越金の追加で、21款1項1目総務債130万円の追加は過疎地域持続的発展特別事業、ソフト事業の追加であります。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で提案理由並びに内容の説明を終わります。

◎休会について

○議長（高橋成和） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

明日の19日は、議案調査等のため休会したいと思いますのですが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、明日19日は休会することに決定いたしました。

なお、明日19日につきましては午前10時より常任委員会を開催していただくこととなっておりますので、よろしくお願いいたします。

また、20日は午前10時より本会議を再開いたしますので、出席いただきますようよろしくお願いいたします。

◎散会の宣告

○議長（高橋成和） 本日はご苦労さまでした。

（散会 午前11時05分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 高 橋 成 和

署 名 議 員 笹 木 笑 子

署 名 議 員 小 澤 一 文

令和 7 年

上砂川町議会第 2 回定例会会議録（第 2 日）

6月20日（金曜日）午前10時00分 開 議
午前10時29分 閉 会

○議事日程 第 2 号

- 第 1 会議録署名議員指名について
- 第 2 一般質問
- 第 3 議案第 2 4 号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 4 議案第 2 5 号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 5 議案第 2 6 号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第 6 議案第 2 7 号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第 7 議案第 2 8 号 令和 7 年度上砂川町一般会計補正予算（第 1 号）
※ 議案第 2 4 号～第 2 8 号は、質疑・討論・採決とする。
- 第 8 調査第 2 号 所管事務調査について
- 第 9 派遣第 1 号 議員派遣承認について
(追加日程)
- 第 1 0 意見書案第 1 号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- 第 1 1 意見書案第 2 号 地方財政の充実・強化に関する意見書

○会議録署名議員

3 番 笹 木 笑 子 4 番 小 澤 一 文

◎開議の宣告

○議長（高橋成和） おはようございます。ただいまの出席議員は8名です。

理事者側につきましては、全員出席しております。

定足数に達しておりますので、令和7年第2回上砂川町議会定例会は成立いたしましたので、休会を解きまして再開いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

（開議 午前10時00分）

◎会議録署名議員指名について

○議長（高橋成和） 日程第1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第124条の規定によって、3番、笹木議員、4番、小澤議員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

◎一般質問

○議長（高橋成和） 次、日程第2、一般質問を行います。

本件につきましては、議長の手元まで通告が参っておりますので、許可してまいりたいと思います。

◇ 笹木笑子議員

○議長（高橋成和） 3番、笹木議員、ご登壇の上ご発言願います。

○3番（笹木笑子） 議長の許可をいただきましたので、さきの通告に従いまして、ふるさと納税の促進と返礼品について質問させていただきます。

本町のふるさと納税に関する現状は、令和5年度の実績ですが、北海道を含む180市町村において173位であります。金額としては1,034万円、458件であります。貴重な財源として各事業所の努力や企業のご厚意に感謝と敬意を表するところです。

1次産業のない本町において、他自治体との比較には違和感がありますが、本町の返礼品につきましては事業所、企業頼みの感があります。工夫とアイデアで特色ある返礼品の開発をすることから、納税の促進のみならず交流人口の増など、町づくりにつながると思います。

一案ですが、体験型返礼品はいかがでしょうか。本町のイベントの活用や施設、人材、地域おこし協力隊などを活用して物づくり、リラクゼーション、ドローンなどやマラニックの参加などの体験にパンケの湯の入浴券、宿泊券をプラスすることにより交流人口、関係人口の増につながると思います。また、高齢者の多い本町です。ふるさとの親への家事代行サービスとして墓掃除、除雪、草刈りなどはいかがでしょうか。高齢になっても住み続けられる町づくりを目指す本町ならではのサービスとして、高齢者の方々、遠くにいる家族にとって

も有用なサービスと考えられます。社会課題にもなっている人手不足の昨今、実施には課題もありますが、回数などの工夫、実施する人材の育成の検討も視野に入れてはいかがでしょうか。

次に、寄附金活用の見える化についてですが、企業版ふるさと納税の寄附の掲載記事、5月31日道新は記憶に新しいところですが、活用用途についても明記され、取り組む事業の周知にもなったと推測します。今までも町広報での周知はしていますが、ふるさと納税に限らず一般寄附も含めたふるさと基金の使い道を町民に分かりやすく伝えることで町の取組を伝えるツールにもなると考えます。また、納税者にとっても自分の寄附が町政に反映されている実感ができ、納税の促進にも有効かと考えます。

体験型返礼品の提案も含め、今後も見据えたふるさと納税の促進について町の考えをお伺いしたいと思います。

○議長（高橋成和） ただいまの3番、笹木議員の質問に対し、答弁を求めてまいります。鷲尾総務課長。

○総務課長（鷲尾仁志） 3番、笹木議員のご質問、ふるさと納税の促進と返礼品についてお答えいたします。

初めに、ふるさと納税は都市部と地方の税収格差を是正するため、平成20年度に創設された制度ですが、返礼品競争の過熱により令和元年度に国がふるさと納税指定制度を施行し、返礼品は地場産品で返礼品の調達額は寄附額の3割以下と厳格な基準見直しが行われている状況にあります。本町のふるさと納税返礼品につきましては、地場産業であるチーズやニジマスの燻製などに加えて新たにジャム製品を追加するなど、町内事業者への支援、調整を図りながら返礼品数の拡大に努めるとともに、インターネットを介した納税ポータルサイトさとふるや楽天などの運用開始により納税件数、納税金額ともに年々増加傾向にございます。

1点目のご質問であります体験型返礼品につきましては、施設の活用において公共施設には利用料無料の施設が多いこと、人材の活用において例えば地域おこし協力隊員の活動も考えられますが、各隊員は現在町民向けの無料体験や教育講座等を中心に取り組んでいることから、寄附金額の設定やスケジュール調整が必要であること、イベントにおいて各実行委員会での事前集約や当日対応等が不可欠であることを踏まえ、体験型返礼品の活用に対する課題は非常に多いというのが現状でございます。しかしながら、既にパンケの湯宿泊券を返礼品として活用しておりますので、例えばそれに組み合わせるサービスの提供や、その他体験型返礼品についても町内事業所や個人事業主など、また条件を整えば地域おこし協力隊も含め発案を受けた際には、総務大臣からの指定を受けることができるよう支援を図ってまいりたいと考えております。

2点目のご質問であります高齢者向けの家事代行サービスにつきましては、その手続を想定しますと、現地の確認、寄附額の範囲で行える作業内容の確認、作業規模、環境や危険性の把握、日程調整、現状と完了後の比較といった業務に加えまして、おのこのニーズに

対しまして的確で迅速な対応が求められることから、実施する人材の育成だけでは対応できるものではなく、専門的な技術を持つ事業者が求められ、人手の確保を考慮しますと返礼品としてのサービスは難しいという状況にあると考えております。

3点目の寄附金活用の見える化につきましては、納税件数や納税額、上砂川町ががんばる基金への積立て及び使途状況をホームページにて公表、併せて納税者に対する周知と予算特別委員会等の中でも町議会に対するご説明をさせていただいております。今後においては、多額の納税、寄附をいただいた方につきましても、本人のご意思にもよりますが、町広報等での公表を検討してまいりたいと考えております。いずれにいたしましても、ふるさと納税につきましては地方創生の観点から本来の制度趣旨や理念に沿うよう、工夫しながらルールに沿った形で今後も一層の促進を図り、一般財源として恒常的に確保できるよう努めてまいりますことを申し上げ、答弁いたします。

○議長（高橋成和） ただいまの答弁に対し、再質問があれば許可いたします。

○3番（笹木笑子） ありません。

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

以上で一般質問を終了いたします。

◎議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号

○議長（高橋成和） 日程第3、議案第24号から日程第7、議案第28号につきましては既に提案理由並びに内容の説明が終了しておりますので、これより順次質疑、討論、採決を行ってまいります。

日程第3、議案第24号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定について議題といたします。

本件に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより議案第24号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、議案第24号 特別職の職員の報酬及び費用弁償等支給に関する条例の一部を改正する条例制定については、原案のとおり決定いたしました。

次、日程第4、議案第25号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について議題といたします。

本件に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより議案第25号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、議案第25号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定については、原案のとおり決定いたしました。

次、日程第5、議案第26号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について議題といたします。

本件に対する質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより議案第26号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、議案第26号 上砂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定については、原案のとおり決定いたしました。

次、日程第6、議案第27号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について議題といたします。

本件について質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより議案第27号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、議案第27号 上砂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定については、原案のとおり決定いたしました。

次、日程第7、議案第28号 令和7年度上砂川町一般会計補正予算（第1号）について議題といたします。

本件についての質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより議案第28号について採決をいたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、議案第28号 令和7年度上砂川町一般会計補正予算（第1号）については、原案のとおり決定いたしました。

◎調査第2号

○議長（高橋成和） 次、日程第8、調査第2号 所管事務調査について議題といたします。

お手元に配付してありますように、行政常任委員長及び議会運営委員長から会議規則第74条の規定により閉会中の継続調査について申出がございましたので、委員長の申出のとおりこれを許可してまいりたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

よって、本件は委員長の申出のとおり許可することに決定いたしました。

◎派遣第1号

○議長（高橋成和） 次、日程第9、派遣第1号 議員派遣承認について議題といたします。

これもお手元に配付のプリントに内容が記載されておりますように、これを派遣してまいりたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

よって、本件は派遣することに決定いたしました。

◎追加日程について

○議長（高橋成和） ただいま議長の手元に意見書案2件が所定の手続を経て提出されておりますので、これを追加日程のとおり追加し、議題に付してまいりたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、追加議事日程のとおり追加することに決定いたしました。

◎意見書案第1号

○議長（高橋成和） 日程第10、意見書案第1号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について議題といたします。

7番、吉川副議長、ご登壇の上ご発言願います。

○副議長（吉川 洋） ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書（案）。

本意見書案について、会議規則第13条の規定により提出する。

令和7年6月20日

上砂川町議会議長 高橋成和様

提出議員 吉川 洋

賛成議員 伊藤 充章

小澤 一文

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は、全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、地球温暖化防止や国土の保全、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要がある。

全国一の森林資源を有する北海道において本町と道が連携し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進、化石燃料の代替となる木質バイオマスの利用促進など森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担っている。

本町をはじめ、道内各地域では、森林資源の循環利用に向けて、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林・間伐や路網の整備、優良種苗の安定供給、山地災害の防止、木造建築物の整備、森林づくりを担う人材の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会の形成に貢献するためには、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策を一層進め、ゼロカー

ボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることが必要である。
よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 地球温暖化や山地災害の防止など森林の多面的機能の持続的な発揮に向けて、新たに策定された「国土強靱化実施中期計画」に基づき、伐採後の着実な植林、適切な間伐、路網の整備や、防災・減災対策の推進に必要な予算を十分に確保すること。
2. 森林資源の循環利用を推進するため、優良種苗の安定供給、鳥獣害・病虫害など森林被害対策、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や木質バイオマスの熱利用の促進などによる道産木材の需要拡大、外国人材も含めた森林づくりを担う多様な人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和7年6月20日

上砂川町議会議長 高橋 成和

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣。

以上でございます。

○議長（高橋成和） 以上で本件に対する説明を終わります。

引き続き質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

意見書案第1号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第1号「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書」は、原案のとおり決定いたしました。

◎意見書案第2号

○議長（高橋成和） 次、日程第11、意見書案第2号「地方財政の充実・強化に関する意見書」について議題といたします。

2番、藏根議員、ご登壇の上ご発言願います。

○2番（藏根高史） 地方財政の充実・強化に関する意見書（案）。

本意見書案について、会議規則第13条の規定により提出する。

令和7年6月20日

上砂川町議会議長 高橋成和様

提出議員 藏根高史

賛成議員 越前等

石田浩二

地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応や新興感染症への備えも求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきました。しかし、増大する行政需要また不足する人員体制に鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められます。

このため、2026年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準確保より積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調にも相応する人件費の確保を含めた地方財政を実現するよう、以下の事項を求めます。

記

1. 社会保障の充実、地域活性化、自治体DX、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。
2. 地域医療を確保するため、公立病院を含めた医療機関への財政支援と必要な財源を確保すること。
3. 子育て対策、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これからの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
4. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、引き続き臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
5. 政府として減税政策を検討する際は、地方財政を棄損することがないように、あらかじめ「国と地方の協議の場」を活用するなどし、特段の配慮を行うとともに、地方財政への影響が想定される場合は、確実にその補填を行うこと。
6. 「地方創生推進費」として確保されている1兆円については、現行の財政需要において

- 不可欠な規模であることから、恒久的財源としてより明確に位置付けること。また、その一部において導入されている行革努力や取組の成果に応じた算定方法は、標準的な行政水準を保障するという地方交付税制度の趣旨に反することから、今後採用しないこと。
7. 会計年度任用職員においては今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き、その財政需要を十分に満たすこと。
 8. 諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対する特別交付税の減額措置について、地域手当はその対象から除外されたものの、寒冷地手当、期末・勤勉手当等については依然、その措置が残されていることから、自治体の自己決定権を尊重し、これらの減額措置を早期に廃止すること。
 9. 自治体業務システムの標準化・共通化にむけては、その移行に係る経費はもとより移行の影響を受けるシステムの改修経費や大幅な増額が見込まれるシステム運用経費まで含め、必要な財源を補填すること。また、戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加やマイナンバーカードと健康保険証・運転免許証の一体化など、自治体DXにともなうシステム改修や事務負担、人件費の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。
 10. 地域の活性化にむけて、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、公共交通専任担当者の確保を支援するとともに、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実をはかること。
 11. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。
 12. 自治体の行う事業において、労務費の適切な価格転嫁が果たされるよう、必要な財政支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和7年6月20日

上砂川町議会議長 高橋 成和

提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣。

以上です。

○議長（高橋成和） 以上で本件に対する説明を終わります。

引き続き質疑を受けます。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） ないようですので、打ち切ります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

意見書案第2号を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋成和） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第2号 地方財政の充実・強化に関する意見書は、原案のとおり決定いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（高橋成和） 以上で本定例会に付議されました案件につきましては、全て終了いたしましたので、令和7年第2回上砂川町議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

（閉会 午前10時29分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 高 橋 成 和

署 名 議 員 笹 木 笑 子

署 名 議 員 小 澤 一 文